



法然上人 浄土宗 開宗850年 お念佛からはじまる幸せ 2024

令和6年(2024年)は法然上人が浄土宗をお開きになってから850年にあたる年です。「南無阿弥陀仏」と唱えれば、すべての者が救われる。この阿弥陀仏の教えに確信を得た上人は、吉水の地でお念仏の教えを弘められました。それから…850年、その教えは色あせることなく脈々と今に伝えられています。

源昌寺通信
木漏れ日
第2号

発行元 浄土宗 光明山 源昌寺
令和五年七月発行

団体参拝しませんか？

下記の日程にて、鹿島組(鹿島の浄土宗寺院)にて団体参拝が計画されています。ご興味がある方、行ってみたいと思われる方はぜひこの機会に申し込まれてはどうですか？

- ◆期日 令和6年4月17日(水)～19日(金) 2泊3日
- ◆費用 11万円(お一人様あたり)
- ◆締切日 令和5年12月28日まで

- <行程>
- 4/17(水) 奈良當麻寺～東大寺(奈良公園)～湯の花温泉「溪山閣」(京都府亀岡市泊)
 - 4/18(木) 宇治平等院～知恩院(850年慶讃記念法要)～平安の森(京都市泊)
 - 4/19(金) よしもと新喜劇～鹿島へ

※移動は、新幹線と貸し切りバスでの移動となります。



総本山知恩院「三門」

元和7年徳川2代將軍秀忠公の命を受け建立された知恩院三門。一般の寺院は「山門」と書きますが、知恩院の門は「三門」と書きます。これは、「空門(くうもん)」「無相門(むそうもん)」「無願門(むがんもん)」という、悟りに通ずる三つの解脱の境地を表わす門(三解脱門:さんげだつもん)を意味しています。

お申込みされる方はお寺に申込書があります。

ぜひ、この機会に



有縁無縁の仏さまに供養を…「施餓鬼法要」



令和5年5月21日(日)13:00より施餓鬼法要を開催いたしました。これまでは、コロナ感染予防のため、午前中は一般の方、午後から初施餓鬼を迎える方と分けておりましたが、今年は、4年ぶりに元の形に戻し有縁無縁の仏さまを一諸にご回向いたしました。たくさんの方々にお参りいただき、ありがとうございました。皆さまと共に唱えいたしました「お念仏」は、必ず亡き人のもとへ届いたことでしょう。詠唱の方々も事前の練習から当日とご苦労いただきました。本当にありがとうございました。

施餓鬼の由来は…

施餓鬼の由来は、『救拔焰口餓鬼陀羅尼經(くばつえんくがきだらにきょう)』の経説に基づくものです。お釈迦様のお弟子の一人である阿難(あなん)尊者が、餓鬼に3日の命と予告されました。そこでお釈迦様の教えに従って、陀羅尼(だらに)を唱え、餓鬼に食事を施したところ、その功德によって餓鬼が救われ、阿難尊者も寿命を延ばすことができました。こうした説話に基づいて、施餓鬼法要が行われるようになりました。



住職コラム

令和五年四月、一念發起して京都の知恩院近く、浄土宗教化研修会館「源光院」で開催された「宗教師研修会」に参加。研修は2日間の日程だったが、中々勉強になる内容だった。

僧侶の道を歩むようになってから、約三十年。節目の年に、もう一度、法然上人の教えを原点に返って勉強しよう。そう、思ったのがきっかけだった。

久しぶりに訪れる京都。降り立つと色々な思い出が浮かんでくる。不器用だった自分から脱出しようと、もがいていた学生時代。そこで経験したことは、時を経て懐かしさと共に浮かんでくる。変わらず京都駅を見つめ続ける京都タワー。空き時間に街を歩くと、時の経過と共に少し姿を変えてはいるが、変わらずにあることに安堵感を覚える。

京都在住の方と話す時、このコロナ感染症で京都の町は大打撃を受けた様子。日本屈指の観光地に人が集まらなくなる事は想像しただけでも厳しい。お店は閉店する。人の心までが沈む中で私たち人間は、どこに安らぎを求めればいいのか。そんな時に思い浮かんだのが、法然上人のお言葉。親鸞聖人がその師である法然上人に決定的な出遭いをされた時、「ただ念仏して弥陀にたすけられまいらすべし」この「出遭い」とこの「言葉」に人生が大きく変わられた親鸞聖人。

ある出遭いによって。ある言葉によって変わる人生がある。私たちがとって一番大事な事とは、「出遭い」かも知れない。出遭いに感謝。